

1次関数

年 組 名前

/5

- ① 変化の割合が7で、 $x = 1$ のとき $y = 5$ となる1次関数を求めなさい。

- ② 変化の割合が -1 で、 $x = -3$ のとき $y = -9$ となる1次関数を求めなさい。

- ③ 変化の割合が5で、 $x = 5$ のとき $y = 36$ となる1次関数を求めなさい。

- ④ 変化の割合が -6 で、 $x = -7$ のとき $y = 50$ となる1次関数を求めなさい。

- ⑤ 変化の割合が -2 で、 $x = 4$ のとき $y = -17$ となる1次関数を求めなさい。

1次関数

年 組 名前

/5

- ① 変化の割合が7で、 $x=1$ のとき $y=5$ となる1次関数を求めなさい。

変化の割合が7であるから、この1次関数を $y=7x+b$ と表すことができる。

$x=1$ のとき $y=5$ であるから、 $5=7 \times 1 + b$

これを解くと、 $b=-2$

よって、 $y=7x-2$

$$y=7x-2$$

- ② 変化の割合が-1で、 $x=-3$ のとき $y=-9$ となる1次関数を求めなさい。

変化の割合が-1であるから、この1次関数を $y=-x+b$ と表すことができる。

$x=-3$ のとき $y=-9$ であるから、 $-9=-1 \times (-3) + b$

これを解くと、 $b=-12$

よって、 $y=-x-12$

$$y=-x-12$$

- ③ 変化の割合が5で、 $x=5$ のとき $y=36$ となる1次関数を求めなさい。

変化の割合が5であるから、この1次関数を $y=5x+b$ と表すことができる。

$x=5$ のとき $y=36$ であるから、 $36=5 \times 5 + b$

これを解くと、 $b=11$

よって、 $y=5x+11$

$$y=5x+11$$

- ④ 変化の割合が-6で、 $x=-7$ のとき $y=50$ となる1次関数を求めなさい。

変化の割合が-6であるから、この1次関数を $y=-6x+b$ と表すことができる。

$x=-7$ のとき $y=50$ であるから、 $50=-6 \times (-7) + b$

これを解くと、 $b=8$

よって、 $y=-6x+8$

$$y=-6x+8$$

- ⑤ 変化の割合が-2で、 $x=4$ のとき $y=-17$ となる1次関数を求めなさい。

変化の割合が-2であるから、この1次関数を $y=-2x+b$ と表すことができる。

$x=4$ のとき $y=-17$ であるから、 $-17=-2 \times 4 + b$

これを解くと、 $b=-9$

よって、 $y=-2x-9$

$$y=-2x-9$$